

過去最高6万5千円 滝沢スイカ初競り式開催

滝沢市特産の「滝沢スイカ」の初競り式が8月1日、盛岡市中央卸売市場で開催されました。最高ランクの「秀」と評価された、2玉1ケースの大玉スイカには、過去最高だった去年を2万円上回る、6万5千円の値が付きました。過去最高値で競り落とした(有)フルーツ・タケウチの竹内宏光さんは「県外でも滝沢スイカが認知されてきている。滝沢ブランド確立のため応援したい」と話していました。



フルーツカービング 滝沢スイカを美しく加工

フルーツを使いダリアの花など彫刻を施す「フルーツカービング講習会」が8月7日、ビッググループ滝沢で開催されました。参加した料理人や滝沢スイカ生産者らは、講師の全日本氷彫創美会の小野恒夫理事らの指導の下、滝沢スイカの表面を削り花の模様などに美しく仕上げる技術を学びました。参加した高橋さんは「きれいにグラデーションを出すのは難しい」と奥深さを語りました。



柳村市長に活躍報告 全国・東北でも活躍誓う

県中総体や県通信陸上などで好成績を収め、全国大会や東北大会に出場する市内中学生26人が7月20日、市役所を訪れました。

滝沢南中、滝沢二中、一本木中、滝沢中からそれぞれ、軟式野球、陸上競技、水泳、新体操、相撲、剣道、柔道、ソフトテニス、一本木さんさの代表が、柳村市長に各大会の結果を報告するとともに、東北・全国大会への抱負を力強く話しました。



地域雇用創出に期待 イノベパークに企業立地

市と株式会社アルチザネットワークス(床次隆志社長)は8月4日、滝沢市IPU第2イノベーションセンターで調印式を行い、滝沢市IPUイノベーションパーク企業立地協定を締結しました。

床次社長は「滝沢から世界で活躍できる人材を輩出したい」と思いを語りました。同パークへの企業立地は同社が初めてとなります。

学びによる課題解決 木工工作体験で国際交流

たきざわ少年少女ふれあい講座「世界はひとつ！国際交流&世界にひとつだけの木工工作づくり」が7月22日、イノベーションセンターなどで行われ20人超が参加しました。

参加した皆さんは、滝沢市国際交流協会の皆さんとの交流や、滝沢市商工会青年部と松森木工所代表の松森政仁さんらと木工工作を通じた学びによる課題解決を実践しました。



自然と地域の交流に 大釜でイワナの稚魚放流

大釜上自治会（徳田和行会長）主催のイワナの稚魚の放流事業が7月22日、大釜のみどり団地集会所付近で行われました。参加した親子ら地域の皆さん約100人は、イワナの稚魚およそ500匹を放流し、自然と親しみました。その後放流とは別にイワナのつかみ取りと試食が行われ、地域の交流を深めました。大釜上子ども会の齊藤好恵会長は「自然や地域と交流する良い機会だ」と話していました。

第9回大釜探検隊 盛岡西リサーチパーク見学

第9回大釜探検隊（大釜地域づくり推進会主催）が7月25日、盛岡西リサーチパークで開催され、大釜地域の市民15人が参加しました。

精密機械部品加工の（株）小林精機と、平成27年に開設した加工食品卸売業（株）ロジスティクス・ネットワーク北日本支店盛岡西物流センターを訪問し、精密機械の部品加工作業や、食品の鮮度を守るためのマイナス25℃の冷凍庫を見学しました。



柳沢小中避難所運営 地域課題解決学習を体験

柳沢小中学校が7月21、22日の2日間、避難所運営などを通じた宿泊防災体験学習を行いました。小学5年から中学3年までの児童生徒30人や家庭、学校、地域の皆さんが避難所運営ゲームや避難所設営を体験。参加した中学生は「いざというときに、みんなで協力して頑張りたい」と話していました。同校は、「いわての防災スクール」の指定を受け、実践的な防災教育を推進しています。